

令和6年度 第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進 市民ボランティア連絡会 要点録

日時：令和6年5月23日（木）13：30～15：45

会場：多摩市立中央図書館 活動室2・3

定数確認：出席9名 欠席1名（半数以上の出席が必要）

出席団体：えほんの会、おはなしシュッポップ、おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、
多摩おはなしネットワーク、多摩おはなしの会、多摩市文庫連絡協議会、
布の絵本サークルピエロ、もりの文庫

欠席団体：The Witches

開会

（事務局より、事務局員変更紹介および配布資料の確認）

1 令和5年度第3回第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会要点録 （案）の確認

・修正意見がないため、確定とする。

2 報告事項

（1）新委員の紹介（委員の変更について）

- ・事務局より、資料に沿って説明
- ・新規参加団体より挨拶

（2）令和6年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣 表彰について（コアラ文庫）

- ・事務局より、資料に沿って説明

(3) 令和5年度各館おはなし会の実績

- ・事務局より、資料に沿って説明

○主な意見

- ・(委員) 参加人数について、おはなし会団体として把握している数と異なる部分がある。
→ (事務局) 確認する。
- ・(会長) 資料3には「図書館開館50周年を祝い、おはなし50話を楽しむ会」は含まれていないのか。
→ (事務局) 定例・スペシャルおはなし会についてのみで、イベントとして実施した「おはなし50話を楽しむ会」は含まれていない。
- ・(委員) イベントも含め図書館全体としておはなし会を実施した結果がまとまった、年間を通した子どもの動きが分かる端的な資料があると良い。
→ (事務局) 今後はそのように報告する。
- ・(委員) 参加人数は増えたが、コロナ前に戻っていないことは念頭に置く必要がある。
- ・(委員) 令和5年度は中央図書館の休館期間もあったため、単純な比較はできない。

(4) 令和5年度 子どもの読書活動に関する事業 実績 (主なもの)

- ・事務局より、資料に沿って説明

○主な意見

- ・(委員) スタンプラリーをきっかけに各図書館の違いがわかったという人がいた。そのような意味では、図書館に興味を持ってもらえるという効果もあり、この事業を続ける価値はあるのではないかと。
- ・(委員) 中央図書館にりんごの棚が設置してあることが好評だった。設置だけにとどまらず、今後の発展に期待したい。

(5) 令和6年度 子どもの読書活動に関する事業予定 (主なもの)

- ・事務局より、資料に沿って説明

○主な意見

- ・(委員) 読み聞かせ初級講座開催後の団体紹介はしてほしい。団体と新規参加希望者の接点が少ない状況なので、図書館に仲介してほしい。
- ・(会長) 新規個人ボランティアの受入について、昨年度第3回の市民ボランティア連絡会を経て講座の詳細が決まった。その報告を踏まえ、議論に入りたい。
 - (事務局) 多摩市の図書館としての定例おはなし会実施にあたり、初級講座終了直後に実践の場に出ていくことは難しいだろうと考える。

活動方法としては、既存団体への入会と新規活動開始の2種類ある。新規活動開始の場合は、図書館職員を相手とした練習を行い、子どもの前に出て良いレベルになってから図書館でおはなし会を実施してもらう。ただ、現状の図書館職員には十分な経験を積んでいる者が少ないため、既存のボランティア団体の協力も仰ぎたい。(新規会員の受入れ、育成)

既存団体への入会の場合は、図書館から団体一覧を渡し、希望者自身で実際の活動を見学したうえで、団体とのコンタクトを行ってもらいたいと考えている。

講座当日、既存団体の活動を案内したい。資料として図書館で活動している団体の一覧を配付したいがよいか。連絡先は記載せず、活動場所や活動日とする予定。新規受入れが困難な団体は申し出てほしい。
- ・(委員) 読み聞かせ初級講座は1回で何ができるのか。自分自身は講座を3回受講し、その中で読み聞かせの指導をしてもらった記憶がある。
 - (事務局) 今年度は現在のところ1回の予定である。来年度以降、複数回にわたる講座としていくことが必要と考えているところである。
- ・(委員) 一回目は都立図書館の職員が講演を行い、それ以降は実際に多摩市の図書館職員が実践講座として開催し、受講生が本を読んだり、おはなし会の実践としてボランティア団体がデモンストレーションをしたりと、最低3回は講座が必要という話は前回会議でも出ていた。
- ・(委員) 団体代表者が講座に参加し、実際に団体の紹介をするのもいいと考える。団体一覧の配付だけでなく、実際に見るきっかけがあると、より参加しようという気持ちになると思う。
- ・(委員) 来年度の講座内容について、単なる読み聞かせの技術だけでなく、「子どもを知り、本を知る」ための基本的な内容を必ず入れてほしい。
- ・(会長) 図書館ホームページの記載内容については、各団体で早期に確認してほしい。25日の初級講座終了後のリスト配付について、本日不参加の団体には図書館より連絡してもらう。

3 意見交換

第 16 回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》開催内容について（次第から順序変更）

- ・事務局より、資料に沿って説明

→ほんともフェスタの開催について、今年度は一昨年までの開催方法に一旦戻し、来年度以降については各委員からの意見も募り方針決定したい。

○主な意見

- ・（委員）そもそもの《ほんともフェスタ》のあり方について話し合う必要があったが、十分な議論がこれまで出来ていなかった。
- ・（委員）ほんともフェスタは、第一次・第二次多摩市子どもの読書活動推進計画では、多摩市子どもの読書活動推進連絡会が主催の事業であったが、平成 30 年度（2018 年度）より、多摩市立図書館が主催するようになった。
- ・（委員）この度新たな読書活動振興計画が策定される中で、ほんともフェスタをどのように扱うべきか検討する必要がある。
- ・（委員）市は市民協働を前面に出しているようだが、子どもの読書に関しては、どのような手法で進めるのか。近年は団体から図書館へ意見を出しても受け入れられないことが多かった。真に市民協働をするのであれば、年 4 回の会議では足りない。
- ・（委員）昨年夏のスペシャルおはなし会は、子どもの参加がかなりあり良かった。
- ・（委員）今年度も夏のスペシャルおはなし会があると想定し、準備をしていた。
→（事務局）昨年夏のように期間を限定して行うのではなく、中央図書館のおはなしのへやに空きがある時間帯に、定例のものに追加しておはなし会をやる形式でどうか。活動室の利用については、希望があれば伺い調整する。

（6）（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画策定の進捗状況について

- ・事務局より、資料に沿って説明

○主な意見

- ・（委員）今年度も市民ボランティア連絡会が 3 回しか予定されない。連絡会としての意見をもっと話し合いたいし、有識者会議出席者のためにも意見を伝える必要があるのではないか。
- ・（委員）必要に応じて市民ボランティア連絡会を追加開催してほしい。
- ・（委員）第 3 回有識者会議に間に合うよう、第 2 回市民ボランティア連絡会の日時を変更すれば良いのではないか。

- (事務局) 第2回の市民ボランティア連絡会は9月26日(木) 13:30からとする。
- ・(会長) 有識者会議の結果については、委員にメールで発信するという方法もある。
- (委員) メールだけでなく直接会う機会もほしい。

4 連絡事項

多摩市立図書館ホームページ 団体のご紹介のページの更新について

- ・事務局より、資料に沿って説明

○主な意見

- ・(会長) 土曜日の読み聞かせ初級講座に向けて内容を見直す必要はあるのか？
 - (事務局) 講座では団体名、活動場所、活動日時を掲載予定。それについての変更があれば、電話・メール等で連絡してほしい。今回の連絡は、年間を通して掲載する内容の再確認である。

情報交換及び次回の日程について

- ・次回日程：9月26日(木) 13:30~15:30 会場：中央図書館 活動室2・3
- ・各委員より所属団体主催事業・作成配布物についての連絡

閉会